



立 協 躍  
志 和 動

# 清園の風

第 12 号  
令和5年 3月24日  
発行責任 野村 勝紀

## 3校連携スローガン「利他共生 ～ for you , with you ～」

### 重点目標

授業改革

心の改革

接続改革

## 小・中接続「利他共生」を実現する学校を創る

## 令和5年度もSMSは「利他共生」 教頭 野村 勝紀

令和5年度の志文・メープル・清園のSMS3校は、昨年度に続き「利他共生 ～ for you , with you ～」をスローガンとしました。15歳を迎えた清園中学校の生徒の姿を「自分には良いところがある」と力強く言える生徒の育成に向け、小中接続を一層強化しながら取組を進めます。

「利他」とは、誰かのために自分を生かすこと、「共生」は共に生きることです。他人の役に立った、他人に喜んでもらえたなど、他者との関係の中で育まれる「自己有用感」の獲得は、自己肯定感(自尊感情)の獲得につながると考え1年間取り組んできました。後期の生徒アンケートからは、「私は学級や学校の一員であり、私の存在は学級や学校の役に立っている」という思いが徐々に強くなっている結果を読み取ることができます。

この1年の成果を受けて、SMS3校は、引き続き接続を強化し、取組の質を高めて「自己有用感」を育てていくこととしています。具体的には、小中合同クリーン作戦、児童会・生徒会が連携した取組、SMS Englishなどの各種小中合同学習により小中の接続を深めてまいります。授業づくりでは、岩見沢市立教育研究所の研究協力校としての研究推進、新潟大学附属新潟小学校との共同研究、マイノートの取組を軸に、子どもたちに確かな力を身に付けさせます。また、小中合同道徳研修など外部から質の高い講師陣を多数招き、教員の指導スキルの向上を図ります。

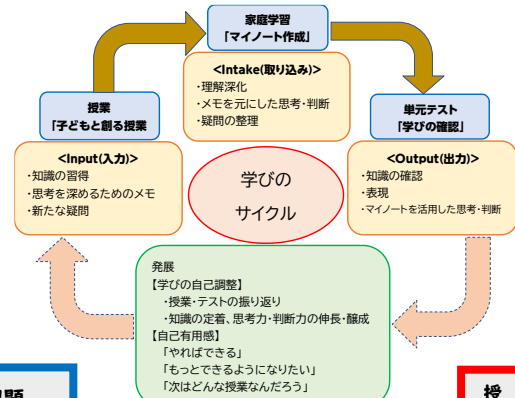
現代のような先行き不透明な困難な時代にあっては、子どもたちが自分自身で納得できる答えを見つけながら生きていくことが大切となります。自分の「納得解」を自信をもって見つけ出し「思考力を高める授業づくり」「安心できる学級づくり」「保護者や地域の期待に応える学校づくり」を学校改革3本の矢として、令和5年度の学校経営を3校で進めてまいります。1年間の教育活動に対しご理解・ご支援いただきましたことに深くお礼申し上げます。

## マイノートの取組 教務主任 武田 博文

今年度から単元テストを実施しております。さらに後半からはノートを持ち込んでも良いこととして取り組んできました。前例の少ない取り組みに驚かされている方もいらっしゃると思いますので、【マイノート】について改めてご説明致します。

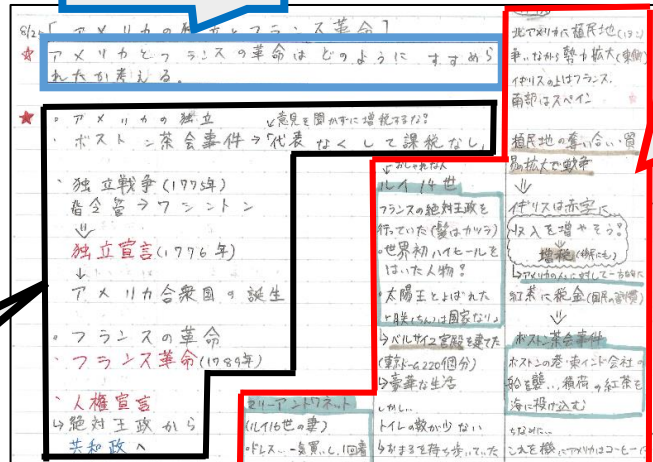
黒板に書かれたことを写すだけのノートではなく、基礎となる「知識」、それを元に導いた「思考・判断」、それらを言語化した「表現」をメモしたものをもとめ直した【マイノート】を作成することで授業の「振り返り・理解深化」が進み、「確かな学力」の定着が図られると考えています。

もちろん、われわれも板書やノートの取らせ方を工夫し、答えを見つけて書き写すだけとなるようなテスト問題とならないよう努力していきます。



「知識」の定着を前提とした「思考力・判断力・表現力」が重要視されてきていますので、今求められている「学力」を身につけさせる取り組みであることをご理解ください。

### この授業の課題



黒板に書いた内容

授業中聞き取ったり、考えたことをまとめたメモ

令和4年度



## 清園中「利他共生」プロジェクト



### 清園中CS情報

令和5年度の岩見沢市教育行政執行方針では、コミュニティ・エリアを基盤として「ふるさと岩見沢への誇りと愛着を醸成することとしています。引き続き「地域とともに歩む学校づくり」へのご支援をお願いいたします。

★★アフターコロナを見据えた卒業式を実施★★

★★出会いと別れ 新たな場所で活躍を誓う★★

## 沈黙の春を越えて～音楽科教諭 佐藤 眞弓

2020年1月、突如停止した学校。その年の卒業式で聞こえたのは、2ヶ月間歌うことはもちろん、級友に会うことすら叶わなかった卒業生たちのか細い歌声。あのときのやるせなさを、今でも鮮明に思い出すことができます。

今年度も合唱を行わない予定だった卒業式。ぎりぎりの判断で実施できることになりましたが、そのことを伝えたときの子どもたちの微妙な反応。「どうせまた、直前でだめになるんじゃないの?」と。学校から合唱が失われ、報われることのない練習が生徒に与える影響の大きさを、今更ながらに痛感しました。

そんな中始まった合唱練習。子どもたちの声は美しいというより、荒削りな原石を思わせます。音楽が不得手な生徒も得手な生徒も一緒に歌うので無理ありません。しかし、それぞれの強み、弱みをさらけ出して一つの作品を作り上げる営み、そしてたった5分弱の時間に集約される子どもたちの真摯さが、何より人の心を打つと思うのです。

わずかな期間での取り組みは、ほとんどの生徒に負担であったろうと思います。全ての生徒たちの努力はもちろん、直前に指揮、伴奏、リーダーを担ってくれた生徒の覚悟には、ただただ感謝するばかりです。

再現不可能な「音」を介して全校生徒、保護者、職員が一体となって卒業式を作り上げた貴重さが、誰一人かけても成立しなかったあの一瞬が、いつの日か生徒自身の支えの一端となり思い出の一片となったなら、これ以上のことはありません。

今年の清園の卒業式には、あたたかい涙とともに、3年間の沈黙を打破する力強い歌声が響き渡りました。



## 清園中を離任する職員の紹介

この春、清園中を離れる職員は、3名です。これまで清園中の教育を支えてきた教職員からのメッセージです!!

### ◎退職する職員

これまでのご勤務お疲れ様でした!!



#### ★教諭 佐藤 眞弓

⇒清園中学校には10年在籍という最古参でしたが、育児休業と病気療養等の期間があり、実際の勤務は5年に満たないほどでした。細切れの短い勤務であったにも関わらず、いつも元気な子どもたちと保護者の方々の温かい言葉に支えられ、思い出深い貴重な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

### ◎転任する職員

新たな地でさらなる活躍を!!



#### ★教頭 野村 勝紀

⇒1年間という短い期間ではありましたが、保護者の皆様、地域の皆様の多大なるご理解・ご支援をいただいたことに心から感謝申し上げます。清園中では、「利他共生」のスローガンのもと、小中が密接につながりながら教育活動を進めてきました。人が変わっても思いや願い、考え方は持続していきます。引き続き、本校へのご支援をいただきますようお願いいたします。

#### ★養護教諭 石川 知美

⇒8年間、大変お世話になりました。生徒の皆さんからパワーをもらいながら、充実した日々を送ることができました。今までの教職員生活で一番長い年数を過ごし、たくさんの経験をさせていただいた清園中学校での生活は忘れがたいものとなりました。支えていただいた保護者の皆様、地域の皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。

年度末始休業中の開庁時間(8:10~16:40) ※左記時間以外は留守番電話となります。  
緊急時はこちらの学校代表メールアドレスへ→seien@edu.hamanasu.com  
令和5年度始業式・入学式は、4月6日(木)です。

